

佐井村出産祝金制度をはじめます

村では、第3子以降の出産を奨励祝福し、次代を担う子どもたちの健全育成に資するため、出産時における経済的支援および村民の定住促進を図ることを目的に出産祝金の支給をはじめます。

- | | |
|---------|--|
| 1. 祝金の額 | 20万円 |
| 2. 対象児 | 平成28年度4月1日以後に出生した第3子以降の子ども |
| 3. 受給資格 | ①出産時において、引き続き2年以上前から佐井村の住民基本台帳に記録され、現に村内に住んでいる方
②出産後も対象児とともに引き続き5年以上当村に定住する意思のある方 |
| 4. その他 | ①申請書などの必要書類は、住民福祉課に備えてあります。
②受給資格を備えていても支給できない場合もありますので、ご確認ください。 |

【お問合せ】住民福祉課 福祉・健康推進係



病院だより



大間病院
内科医長 二部 悦也

転ばぬ先の“骨”

春になり、冬期間に出来なかった畑作業や散歩などに意気込んでいる方が多いと思います。しかし、待ってください。みなさん、久しぶりに動くと、足よりも気持ちが先に出て、体がついていかず、ついつい転んでしまった経験はありませんか？

お気をつけください。たった一回の転倒で人生が変わってしまうこともあるので...

骨はカルシウムというミネラルの貯蔵庫です。骨は血の中のカルシウムから“造られ”、血の中のカルシウムが足りなくなると骨を“壊して”います。体の中の“骨を造るもの”と“骨を壊すもの”は普段、バランスが保たれていますが、年齢を重ねるごとにそのバランスは崩れ、“骨を壊すもの”の勢いが強くなります。すると骨の中身がスカスカになり、簡単に骨折しやすくなります。そう、これが「骨粗しょう症」という病気です。

「骨粗しょう症」が進むと椎体（背骨）・大腿骨近位部（太ももの付け根）・橈骨遠位端（腕の骨の先）などに骨折を起こしやすくなります。特に大腿骨近位部を骨折した場合、手術をしたとしても、元通りに歩くことが出来る人は半分といわれています。元通りに骨をくっつけたとしても、その人のリハビリ次第で元のように歩けるかどうかが決まります。また、骨折をした人の1年後に死亡する可能性は約10%とされており、たかが骨折と侮ってはいけません。されど骨折... なってからではもう遅いのです。ならないように予防することが重要です。今では飲み薬だけでなく、外来受診をした時に注射をして予防することが可能となりました。年齢を重ねれば重ねるほど骨は脆くなります。「骨粗しょう症」を予防し、自分の足で健康に歩き続けられるようにしましょう。

もし心配なことや気になることがありましたら、大間病院を受診した際にご相談ください。